

2017年12月6日

## ～日本とフィジーを結ぶ唯一の直行便～ フィジー・エアウェイズ、2018年7月3日より 成田＝ナンディ線に新規就航！

フィジー・エアウェイズ (IATAコード:FJ、以下FJ) は、2018年7月3日より成田＝ナンディ線に新規就航することとなりました。同路線はFJの前身であるエア・パシフィック航空\*時代に運航していた2009年3月以来9年ぶりの復便となり、日本とフィジー共和国を結ぶ唯一の直行便となります。

フィジー共和国は、南太平洋に位置する333もの島々から構成され、美しい海や珊瑚礁に囲まれたリゾート地であり、ハネムーンのデスティネーションとしても人気です。

成田空港としては、今回の直行便就航によりお客様に旅の新たな選択肢が提供でき、利便性がさらに向上することを喜ばしく思っております。

FJの新規就航によりさらに充実する成田空港のネットワークをぜひご活用ください。

\*FJは2013年6月、エア・パシフィック航空からフィジー・エアウェイズへ社名変更



<写真:フィジー政府観光局様ご提供>

- 就航日 : 2018年7月3日(火)
- 就航地 : 成田＝ナンディ **NEW!**
- 機材 : A330-200/-300
- 運航スケジュール: 週3便(火/金/日)

便名	出発地	出発時間	到着地	到着時間
FJ350	東京／成田 (NRT)	21:25	ナンディ (NAN)	9:05 (翌日)
FJ351	ナンディ (NAN)	13:25	東京／成田 (NRT)	19:30



<写真:フィジー・エアウェイズ様ご提供>

※全て現地時間

※関係当局の認可を前提とします。

※スケジュール等は都合により変更となる場合がございますので予めご了承下さい。

※詳細はFJの公式ホームページ([www.fijiairways.com](http://www.fijiairways.com))をご参照下さい。

以上

**NAA 成田国際空港株式会社**

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内NAAビル  
URL : <https://www.narita-airport.jp/jp/>

2017年12月6日

## フィジー・エアウェイズ、成田＝ナンディ線の新規就航を発表

- ・ 週3往復運航する成田＝ナンディ線は日本とフィジーを結ぶ唯一の直行便
- ・ 世界で最も幸福な場所、フィジーが日本からたった9時間に
- ・ 成田＝ナンディ線には燃費効率の高いA330を導入

フィジーの国営航空会社であるフィジー・エアウェイズは、本日、日本とフィジーを結ぶ週3便の直行便の就航を発表しました\*。日本から南太平洋へ多くの旅行者を運ぶ唯一の直行便となります。

\*関係当局の認可を前提としています。

2018年7月3日より、成田空港からナンディ国際空港へ就航が開始されます。火曜日、金曜日、日曜日発の週3便を運航し、フィジーと日本の間で年間80,000席のキャパシティを提供します。

機影、機内、フィジーのお写真等はこちらからダウンロードいただけます:

<http://urx.blue/HmU2>



また、期間限定で就航記念特別運賃として56,200円\*(諸税、燃油サーチャージ込)～の価格で成田＝ナンディ往復運賃を販売予定です。

フィジー・エアウェイズのCEO兼マネージング・ディレクターであるアンドレ・ヴィルジョエンは、次のように述べています。

「今回発表した日本とフィジー間の週3便の運航は、日本の旅行者にとってフィジーと南太平洋へのアクセスをかつてない程容易にしましょう。我々は、人の手の加わっていないフィジーの333の島を日本の皆様と共有できることを非常に嬉しく思います。フィジーの他に類を見ないホスピタリティ精神と暖かさは、日本からの旅行者に、ただのビーチリゾートとは異なるユニークかつ文化的な経験を与えてくれるでしょう。フィジー・エアウェイズのフライトは乗客の皆様がフィジーでの時間を最大限活用できるように設計しています。成田発のフライトはナンディへ午前中に



到着し、弊社子会社であるフィジー・リンクのフィジー域内国内路線へ乗り継ぎ、サブサブやタベウニといった主要な観光スポットへ気軽に行くことが可能です。加えて、乗客の皆様は、到着しすぐに美しいママヌザ諸島やヤサワ諸島等の素晴らしいリゾートへ船で行くこともできます。」

成田=ナンディ線のフライトサービスは、休暇先としての需要が高まるフィジーをより多くのお客様に楽しんでもらうため、アジア域内のネットワークを拡張するというフィジー・エアウェイズの事業展開の一環であり、最新の発表です。

アンドレ・ヴィルジョエンは、こうも述べています。

「今年、およそ 1,340 万の日本の居住者がすでに海外へ旅行しています\*\*。我々はこの海外旅行需要にビジネスチャンスを見出しています。」

予定されている 56,200 円\* (諸税、燃油サーチャージ込) の就航記念特別運賃は期間限定の販売となります (また販売座席数も限られています)。販売時期は決定次第、お知らせいたします。また、日本のパスポートをお持ちの場合は、フィジーの観光ビザは必要ありません。

フィジー・エアウェイズのフライト予約は、弊社販売代理店、旅行代理店、弊社ウェブサイト、予約センター等で可能です。

#### 日本路線のスケジュール(2018年7月3日より)

フライトナンバー	出発地	目的地	出発時間	到着時間	運航日	運航機材
FJ 351	ナンディ	成田	01:25 p.m.	07:30 p.m.	火、金、日	Airbus A330-200/-300
FJ 350	成田	ナンディ	09:25 p.m.	09:05 a.m.(翌日)	火、金、日	Airbus A330-200/-300

注: 時間は全て出発地、目的地の現地時間です。また、これらの計画は関係当局の認可を前提としています。



---

## 最高のプロダクトでフィジーへ

成田=ナンディ線にはビジネスクラス 24 席、エコノミークラス 249 席の座席配列の A330 を導入します。



### ビジネスクラスの特徴:

- 自由に角度調整可能なアングライフラットシート(水平から 8 度角度まで)
- シートは最長で 76 インチになり、プライバシー保護のためのデバイダーを装備
- 直接通路にアクセス可能な通路側 18 席、窓側 8 席
- それぞれの座席に個人用電源とコネクターを完備
- 15.4 インチのモニター
- 映画、テレビ番組、ドキュメンタリー、音楽といった数百時間に上る機内エンターテイメントオプション
- セレブリティシェフであるロバート・オリバーにより創作された機内食や自由な組み合わせが可能なアラカルトメニュー
- 受賞記録のあるワイン、蒸留酒、リキュール、ビールをご用意
- 40kg までの手荷物預け入れ許容量



### エコノミークラスの特徴:

- 7.5 インチのリクライニング(1.5 インチ前方へ動きます)が可能な人間工学に基づいて設計された座席
- 電子機器の接続口
- 9 インチのモニター
- エンターテインメントオプション
- 暖かい機内食と、ビール、蒸留酒、ワイン等のドリンクオプション
- 23kg までの手荷物預け入れ許容量

\*関係当局の承認を前提としています。

\*\*出典: JTB Tourism Research & Consulting Co., [Japanese outbound tourists statistics](#)

###

### フィジー・エアウェイズについて

1951年に設立されたフィジー・エアウェイズ・グループは、フィジーの国営航空会社であるフィジー・エアウェイズ、その子会社であるフィジーの国内線を運航するフィジー・リンク、そしてリージョナルキャリアーである Pacific Call Comm Ltd を傘下に持ち、デナラウ島の Sofitel Fii Resort & Spa が 38.75%の株式を保有する筆頭株主です。ナンディ国際空港とナウソリ国際空港をハブ空港に、フィジー・エアウェイズとフィジー・リンクは、15 か国 69 地点(コードシェア便を含む)にサービスを提供しています。渡航先にはフィジー、オーストラリア、ニュージーランド、米国、カナダ、英国、香港、シンガポール、インド、クリスマス島、キリバス、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ等が含まれます。フィジーへの渡航者の 64%へサービスを提供するフィジー・エアウェイズ・グループは、1,000 名以上の従業員を擁し、8 億 1,500 万フィジードル(約 3 億 9,000 万米ドル)以上の収益を生み出しています。また、フィジー・エアウェイズは 2013 年 6 月、エア・パシフィック航空からフィジー・エアウェイズへ社名変更いたしました。フィジー・エアウェイズに関する詳細はこちらをご覧ください。 [www.fijiairways.com](http://www.fijiairways.com)

### 本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先

フィジー・エアウェイズ広報担当  
アシュトン・コンサルティング・リミテッド  
電話: 03-5425-7220  
メール: [FiiiAirwaysPR@ashton.jp](mailto:FiiiAirwaysPR@ashton.jp)  
担当: 鈴木、岩屋